

令和4年度

第2回 玉城小学校コミュニティ・スクール議事録

- 1、日時：令和4年10月13日（木） 9：35～10：35（授業参観を含む）
- 2、参加者：校長、教頭、知念かねみ、嶺井末子、崎原盛博、丹野清彦
- 3、内容：委嘱状交付、提言の取組状況説明、意見交換

【1日10回ありがとう運動について】 ○委員 ☆学校

☆この運動をすることで効果があると回答している教職員が多い。ほほえましい場面も見られる。

- プリントを配るとき「どうぞ」「ありがとう」ができるようになっている。あまり意識せずリズムでできている。
 - 家庭でも感じる。「おばあちゃん、ありがとうは？」と言ってくる。迎えに来た時も「ありがとう」と言ってくれる。お互いが気持ちいい。
 - 家庭でも取り組んでもらえたら最高かもしれない。
 - わざと消しゴムを落として拾ってもらい「ありがとう」をいう子もいるらしい。（笑）
- ☆自然にありがとうが言えるように引き続き運動を継続していく。

【1週間で全員！応援・声かけ運動について】 ○委員 ☆学校

☆本来は授業中に教職員の誉め言葉が少ないの改善するために考え出されたものだが、全員に声かけをすることからスタートしている。これも効果があると回答した教職員が多い。

- 外国語の時、発表した子に全員が「グッジョブ」と誉めているのがとてもいい。
 - まずは、教師が全員に声をかけるということが素晴らしい。やっぱり子供たちはうれしい。
 - このありがとう運動と声かけ運動だけでいい。1年続けてほしい。
- ☆教師だけでなく児童の振り返りも取ります。

【授業参観感想・その他】 ○委員 ☆学校

- 落ち着いて授業に参加できている。休み時間にはあいさつもしてくれる。
- 電子黒板がとてもいい。よく活用している。
- 授業開始の黙想がいい。続けてほしい。
- 発表の声が小さい。聞こえにくい。
- 「ありがとうございました」をゆっくり伸ばしていうのではなく普通の口調で言えるといい。
- 学校の調子はとてもいいのでは。この4年間で1番いい気がします。今時珍しくよい。

なかなかこうはいかない。

☆先生方が児童理解をしようとしている。夏休みのもその研修を多く取り入れた。5・6年生は教科担任制を導入し、低学年は交換授業をして、多くの先生で児童を見ている。担任だけに抱え込ませていない。

☆2か月に1回、校区の小中学校の校長が集まっての情報交換会もある。

○担任がいなくても自分たちで自習ができていたのがすごかった。おどろいた。

○立ち歩く子もいないし、後ろで寝転がる子もいない。動作も機敏である。先生方をほめてあげてくださいね。

☆学習支援員や特別支援員がサポートしてくれている。担任の気付かないところで気遣いをしてきている。そのおかげで教師は安心して授業に専念できている。また、支援員同士で情報を共有してコミュニケーションを取っている。とても助かっている。

○月2回、立哨しながら挨拶運動をするのだが玉小の子は元気があり、よく挨拶してくれると駐在さんが誉めていました。

○これだけ学校の調子がいいと、他の事が気になる余裕が出てきてもっともっとと思うが欲張りすぎないでください。きつくなってきますよ。今のままで十分です。

○先生方は楽しく働いているのですか？

☆はい

○楽しく働けないと良い実践ができない。子供も教師も「学校が楽しい」と思えるような玉城小学校にしていきたいと思います。雰囲気作りが大切です。難しいですけども。



【委嘱状交付】